



2019年2月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ プ ロ セ ル 代表者名 代表取締役社長 横山 周史 (コード番号: 4978)

(TEL. 045-475-3887)

米国の主要ながん研究施設 Fox Chase Cancer Center との合弁会社への出資に関するお知らせ

平成 30 年 2 月 22 日にお知らせいたしました通り、当社は米国の主要ながん研究施設であるFox Chase Cancer Center (以下、FCCC)と合弁会社を設立することを取締役会にて承認し、合弁会社設立に関する契約を締結しております。

つきましては、FCCC社との合弁会社であるBiorepository LLC (登記場所 米国デラウェア州、代表取締役社長 Rama Modali) へ出資いたしますので、下記の通りお知らせいたします。

1. 合弁会社設立の目的

現在、世界中の製薬企業では、動物愛護の観点や、ヒトと動物の種の違いによる試験結果の差といった問題点などから「動物実験からヒト細胞実験」への大きなシフトが進んでいます。 当社グループでは、ヒト細胞や組織を活用した創薬支援サービスを展開しておりますが、これらのサービス を行うためにはヒト細胞や組織が必要不可欠であり、事業の拡大にはヒト細胞や組織の調達能力の強化は必須です。そのため、ヒト細胞ラインナップを拡充し、主要事業の一つである創薬支援サービスをさらに加速させることを目的として、FCCCとの合弁会社Biorepository LLCを設立し、出資をいたします。 合弁相手先であるFCCCは米国で100年以上の歴史を持つがん研究施設であり、生体試料に関する多 くのノウハウや、強いブランドカを持っています。本合弁会社では、FCCCのノウハウや強いブランドカを生かし、事業をさらに加速してまいります。

本合弁会社では、今後、世界各地に生体試料バンクを拡大する予定ですが、まずはインドにおいて子会社の開設をいたします。現在インドの人口数は約12億人であり、世界第2位を誇ります。そのため、圧倒的な種類と数の生体試料を採取することが可能となります。さらに、近年インドは著しい経済成長により現在アジア有数の経済大国となっており、将来的にはさらに巨大な市場になると予想されています。

※Fox Chace Cancer Centerについて

1905年にアメリカで最初のがん病院の1つとしてフィラデルフィアに設立され、1974年に国立がん研究所総合がんセンターに指定された最初の機関の1つ。がん分野において、2名のノーベル賞受賞者を輩出したほか、看護プログラムに対し、四年連続で賞を受賞している。

2. 出資する合弁会社の概要

本合弁会社は、当社の連結子会社となります。

(1) 名称		BIOREPOSITORY LLC
(2) 登記場所		米国デラウェア州
(3) 事業所所在地		9000 Virginia Manor Road Suite 207
		Beltsville, MD 20705 USA
		(REPROCELL USA Inc.内)
(4) 代表者の役職、氏名		CEO, Rama Modali
(5) 主な事業内容		生体飼料バンクの開設及び運営
(6) 資本金		\$120,000
(7) 大株主及び持ち株比率		REPROCELL Inc. 50%
		Fox Chase, Ltd. 50%
(8) 設立時期		2019年2月28日
(9) 上場会社と当該会社 との間の関係	資本関係	当該会社は上場会社の子会社となる予定です。
	人的関係	役員の兼任あり
		当社の役員である臼井大祐が、当該会社の役員に就任予
		定です
	取引関係	該当なし
	関連当事者への	該当なし
	該当状況	

3. 合弁相手先の概要

	Fox Chase, Ltd. (※)
	333 Cottman Avenue Philadelphia, PA 19111
	President and CEO
	Richard I. Fisher, MD
	FCCCと他社の合弁会社への出資
	相手企業の要請により非開示
	相手企業の要請により非開示
	Temple University Health System Inc. (※) 100%
資本関係	該当なし
人的関係	該当なし
取引関係	該当なし
関連当事者への	該当なし
該当状況	
営業成績	相手企業の要請により非開示
	人的関係 取引関係 関連当事者への 該当状況

(※) Fox Chase, Ltd. および FCCC は Temple University Health System Inc. の子会社です。 FCCC では他社と合 弁会社を設立する際には Fox Chase, Ltd. を通して出資を行っております。

4. 今後の見通し

本件が当社の平成31年3月期連結業績に与える影響は軽微と考えておりますが、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示いたします。

また、BIOREPOSITORY LLCの子会社としてインドでの法人設立を予定しておりますので、子会社設立決定 次第速やかにお知らせいたします。

以 上